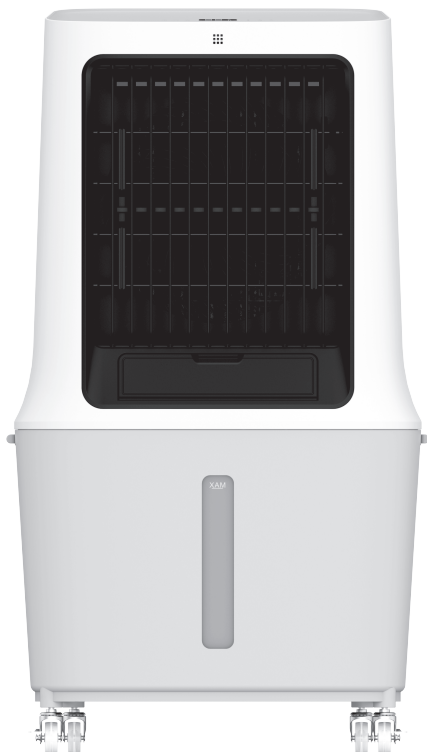


SW25-09

業務用冷風扇



WATER COOLING FAN



この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
本製品のご使用には必ず本説明書をお読みいただき正しくお使いください。

安全上のご注意

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。本書では、製品を安全にお使い頂き、お客様や他の人々への危害を未然に防止するため、ご使用の際の注意事項を警告マークで表示しています。このマークは誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさ、切迫の程度で明示するものです。それぞれの意味を十分にご理解の上、この取扱説明書をお読みください。また、これらのマークを表示している事項は、いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

 警告	誤った使い方をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った使い方をしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

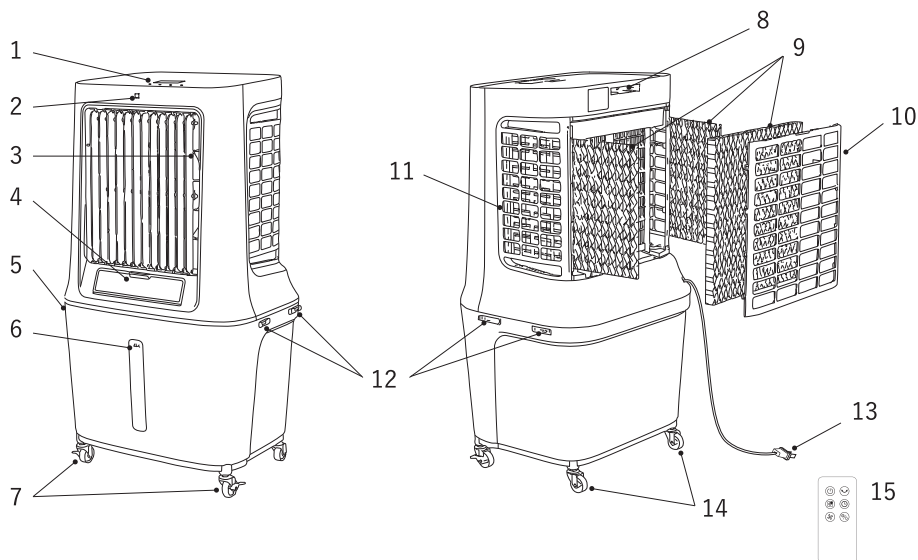
警告

- 分解・修理・改造をしない。(火災・感電の原因)
- 交流 100V 以外の電源は使用しない。(感電・発火の原因)
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない(感電・発火の原因)
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない(感電・ショート・発火の原因)
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない(感電やけがの原因)
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない(感電やけがの原因)
- 送風口などのすき間からピンや針金など、異物を入れない(感電やけがの原因)
- 電源プラグは、根元まで確実に差し込む(感電・ショート・発火の原因)
- 水につけたり、水をかけたりしない(感電やショートの原因)
- 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは乾いた布でふき取る(火災の原因)
- 異常時(水もれ、焦げくさいにおいなど)は、運転を停止して電源プラグを抜く(火災や感電の原因)
- 本体を移動させる際は、段差や電源コードに注意し、転倒しないよう慎重に行う
タンクに水が入った状態で本体上部を押して移動しない(転倒、事故、けがの原因)

注意

- 風を長時間、身体に当てない(健康への影響)
- 不安定な場所に置いて使用しない(転倒・破損の原因)
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く(感電・ショート・発火の原因)
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く(感電・漏電の原因)
- 送風口や吸気口をふさがない(故障の原因)
- 高温多湿・水のかかるところでは使用しない(漏電・感電・火災の原因)

各部名称



1. 操作パネル
2. リモコン受信部
3. 横ルーバーハンドル
4. 給水口
5. タンク
6. 水位窓
7. キャスター（ストッパーあり）

8. リモコン収納口
9. エレメント
10. 吸気フィルター(背面)
11. 吸気フィルター(側面)
12. 固定ロック
13. 電源プラグ
14. キャスター（ストッパーなし）
15. リモコン

仕様

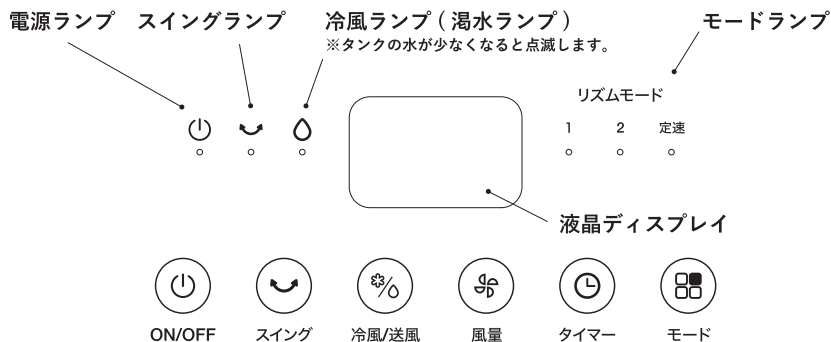
定格電圧 : 100V
定格周波数 : 50/60Hz
消費電力 : 130W
風量切替 : 3段階

本体寸法 :
W496mm×D375mm×H870mm
本体重量 : 約9.4kg
電源コード長 : 約1.6m
水タンク容量 : 約30L

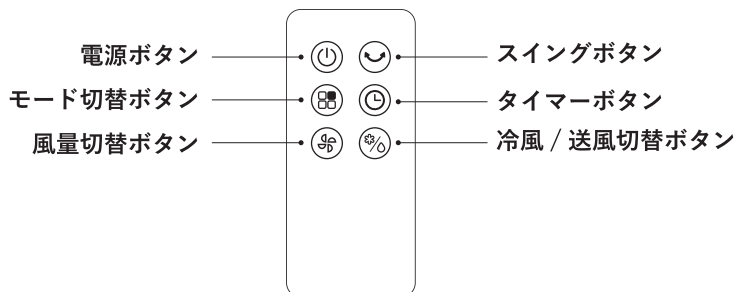
各部名称

本体上部にある操作パネル、またはリモコンを使って操作してください。

操作パネル



リモコン



電源ボタン
電源の入 / 切をします。



風量切替ボタン
3段階に風量を切り替えます。



スイグボタン
左右にルーバーが動きます。



タイマーボタン
最大 12 時間で 1 時間単位の
切りタイマー設定ができます。



冷風 / 送風切替ボタン
冷風モードと送風モードを
切り替えます。



モード切替ボタン
【リズム 1、リズム 2、定速】
3種類の送風リズムからモードを
選択できます。

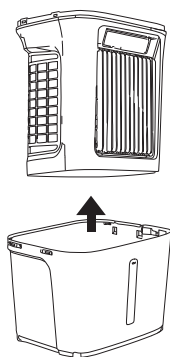
お使いになる前に

※安全上の注意をよくお読みになり、水平で安定した場所に設置してください。
※水はきれいな水道水を使用してください。

1 本体をタンクから取り出す

本体はタンクに収納された状態で梱包されています。

梱包箱を開封したら本体をタンクから取り出してください。

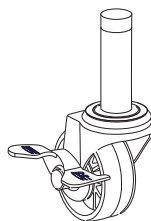
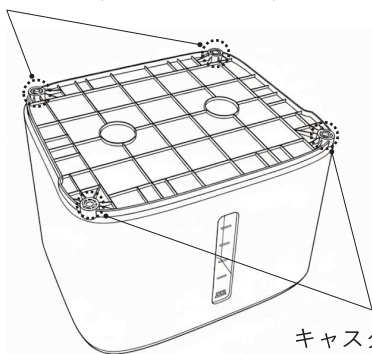


2 タンクにキャスターを取り付ける

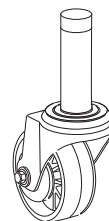
タンクの裏の四隅にある取付穴にキャスターを挿しこみ取り付けます。

前側にキャスター（ストッパーあり）後ろ側にキャスター（ストッパーなし）を取り付けます。

キャスター（ストッパーなし）



キャスター
（ストッパーあり）



キャスター
（ストッパーなし）

キャスター（ストッパーあり）

3 本体からポンプを取り外す

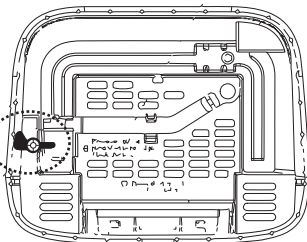
本体に取り付けてあるポンプとホースを、本体から取り外します。
 ポンプは固定ハンドルを反時計回りに回すと取り外すことができます。
 使用後はポンプとホースは元に戻すようにしてください。

固定ハンドル

取り付け時

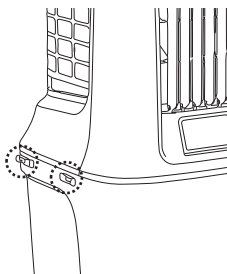
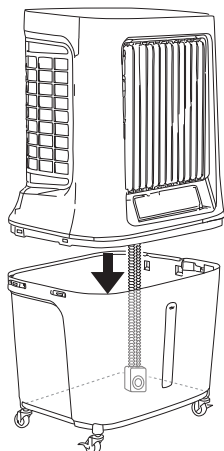


取り外し時

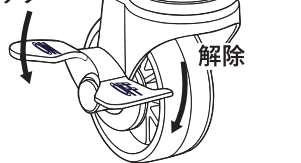


4 本体をタンクの上のせる

ポンプとホースを取り外したら、ポンプをタンクの底に着くように、本体をタンクの上のせます。本体をしっかりタンクの上に乗せたら、タンクについている4箇所
 の固定ロックで固定します。



ロック



解除

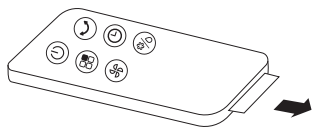
設置場所を決めたら安全のため
 前輪のキャスター（ストッパーあり）
 をロックしてください。

⚠ 注意

冷風扇を移動させる際はタンクの部分を押し移動させるように
 してください。本体部分を押すと転倒する可能性があります。

リモコンの使い方

リモコンの保護シートを引き抜く



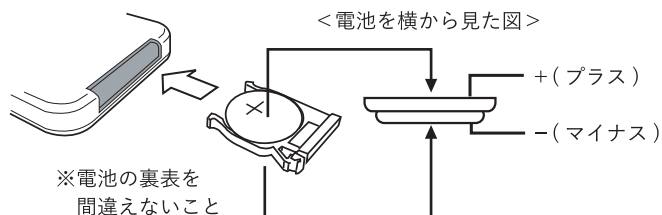
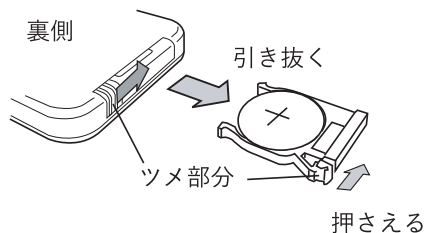
付属の電池は動作確認用(テスト用)です。
ご使用開始後、早めに新品の電池と交換
してください。

※保護シートを抜き取ってもリモコンが動作しない場合は、
一度電池を取り出し表面を乾いた布などで拭いて、正しくセットしなおしてください。

電池の交換方法

①ツメ部分を矢印方向に押さえながら電池
ホルダーを引き抜きます。

②新しい電池を正しい向きに電池ホルダー
にセットし、リモコン本体に差し込みます。

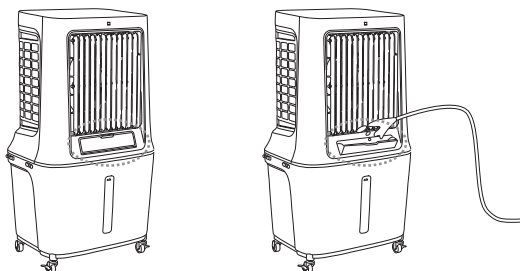


- 次のような所では、リモコン操作ができないことがあります。
 - ・ リモコン受信部とリモコンの間に障害物がある所。
 - ・ インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用している所。
 - ・ リモコン受信部に直射日光などの強い光が当たる所。
- 電池が消耗すると、リモコン操作ができる範囲が狭くなります。
その際は電池を交換してください。
- リモコン送信部に傷を付けないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために
リモコンから電池を取り出してください。
- 乳幼児の手の届くところにリモコンを置かないでください。
電池の誤飲を招くおそれがあります。

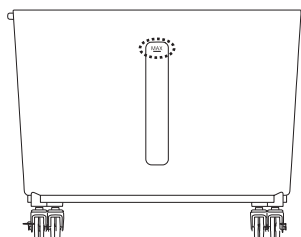
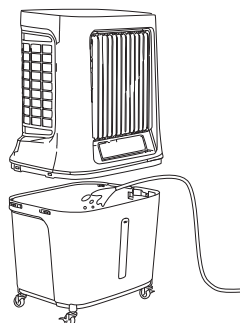
1 タンクに水を入れる

タンクへの給水方法は2種類あります。

- ①本体前面の送風口の下にある給水口を開いて給水口から水を注ぎます。



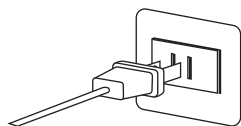
- ②タンクについている4箇所の固定ロックを外して本体とタンクを分離し、タンクに水を注ぎます。
水を入れた後、本体をタンクの上ののせ、固定ロックで固定します。



水の量は、MAXのラインを越えないようにしてください。(最大約30L)

本製品はポンプの構造上、運転後のタンク内に約3~5cm程度の水が残りますが、故障ではございません。

2 コンセントに電源プラグを挿しこむ

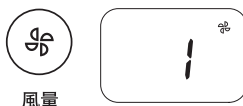


3 電源を ON にする



電源ボタンに触れて本体の電源を ON にしてください。
電源が ON になると電源ランプが点灯し、
前回使用されている設定でスタートします。[※]
[※]タイマーとリズム 2 の設定は解除されます。

4 風量を調節する



風量ボタンに触れるたびに、
風の強さを 3 段階【1(弱)2(中)3(強)]から選択できます。
液晶ディスプレイに現在選択している設定が表示されます。

※風量が切り替わらなくなった場合は、一度電源を OFF にし、
再度 ON にしてください。通常運転に戻ります。

5 冷風運転にする



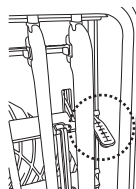
冷風 / 送風切替ボタンに触れると、ポンプが動き水を吸い上げます。
ボタンに触れるたびに、作動と停止が切り替わります。

※ランプが点滅している（最初だけブザーが鳴ります）場合は、
ポンプが水を吸い上げていない状態です。タンクに水が入っているか、
ポンプが水にしっかりと浸かっているか確認してください。
※本製品は、ポンプの構造上、底に 3~5cm の水が残っている状態で
ポンプが停止します。その際は水を継ぎ足して、冷風 / 送風
切替ボタンを押し直し、ポンプを再度起動させてください。

6 風向きを変える



【ルーバーを左右に動かす】
スイングボタンに触れるとスイングランプが点灯し、ルーバーが
左右に動きます。再度ボタンに触れると、ボタンに触れたときの
位置でスイングが停止します。



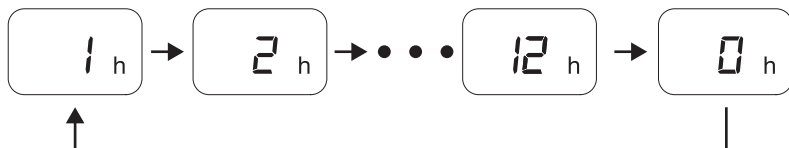
【ルーバーを上下に動かす】
横ルーバーハンドルを動かすと、
上下にルーバーが動きます。

タイマー設定



タイマーボタンに触れるたびに 1~12 時間まで切タイマーを設定できます。

タイマー



運転モード切替



モード

リズム 1、リズム 2、定速の 3 種類の送風リズムからモードを選択できます。

リズム 1 : 風量 1 の場合 (弱) モードを中心に風量がランダムに切り替わります。

: 風量 2 の場合 (中) モードを中心に風量がランダムに切り替わります。

: 風量 3 の場合 (強) モードを中心に風量がランダムに切り替わります。

リズム 2 : 以下の表のように風量を 1 段階ずつ自動で下げていきます。

: 風量 1 の場合 (弱) 90 分 → OFF

: 風量 2 の場合 (中) 60 分 → (弱) 30 分 → OFF

: 風量 3 の場合 (強) 30 分 → (中) 30 分 → (弱) 30 分 → OFF

定速 : 一定の風量で運転します。電源を入れると自動的に設定されるモードです。

使い終わったら

■電源ボタンに触れて電源を OFF にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■水を捨てて水タンクの底部などに残った水をしっかりふき取ってから、よく乾かしてください。特に吸水フィルターは、水分を含んでいますのでカビが発生しやすいため注意してください。

しばらく送風運転をして風を通しますと、フィルターを乾燥させることができます。長時間ご使用にならないときも同様です。

■保管する際は清潔な環境で、直射日光を避け、湿気の少ないところで保管してください。

本製品はポンプの構造上、運転後のタンク内に約 3~5cm 程度の水が残りますが、故障ではございません。

⚠ 注意

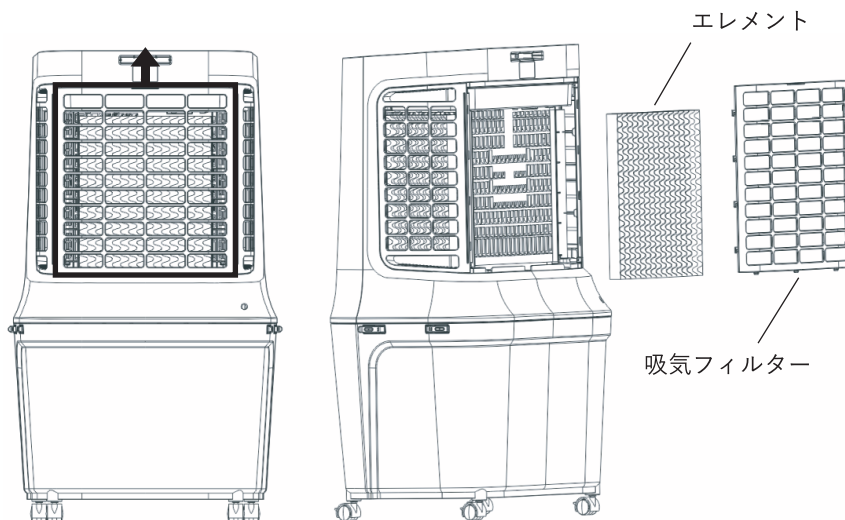
電源コードはきつくしばったり折り曲げたりしないでください。故障の原因になります。

本体の清掃

- お手入れの際は柔らかい布で軽く拭いてください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞ってから汚れを拭き取り、乾いた布でから拭きしてください。
アルコールやベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- お手入れの際は電源を切り、電源コードを抜いてください。
感電する危険性があります。

吸気フィルター・エレメントの清掃

- 吸気フィルターやエレメントにほこりや異物が付着すると風の流れに影響するため、少なくとも2ヶ月に1回は清掃してください。
- 清掃手順
 1. 吸気フィルターを上方向に引き上げ、手前に引っ張りエレメントを取り外します。
 2. エレメントを洗剤に数分間浸し、洗浄して乾燥させます。
 3. 洗浄が終わったらエレメントとフィルターを元に戻してください。



保守パーツ

■以下のパーツをオプションで販売しております。

オプションパーツは、販売店またはお買い上げの店舗にてお買い求めください。

- ・SW25-10 エlementセット（背面1枚 側面2枚入）
- ・SW25-11 キャスターセット（4個入）